

立体駐車場等実施設計

- (1) 駐車場基本計画・基本検討と変更点について
 - ①予備検討（整備目標台数の設定） 【再掲】
 - ②概略検討（概略検討図） 【再掲】
 - ③立体駐車場の配置及び外構施設の検討 【再掲】
 - ④構造及び配置場所の確認 【再掲】
- (2) 実施設計図とイメージCG
- (3) その他公園整備について
 - ①既設立体駐車場昇降機棟増築
 - ②既設レストハウス改修

1-1. 予備検討（整備目標台数の設定）【再掲】



2. 駐車場基本計画

2.1 予備検討

2.1.1 整備目標台数の設定

(1) はじめに

「浦添市運動公園再整備基本構想・基本計画」にて、浦添運動公園内施設の利用者数に対して必要な駐車台数について様々な条件下で試算をしている。

試算によって算出される浦添運動公園に必要な駐車台数は、試算条件パターンによって大きく異なるため、どのパターンによる試算が適切かどうかを選択し、それを整備目標台数に設定する必要がある。

表 2-1 駐車スペース需要の試算結果一覧表

No	試算条件パターン	利用者数から算出される運動公園内の必要駐車台数	運動公園立地駐車場(約 280 台)に対する過不足	備考
1	令和 4 年の利用者数からの試算 ※大規模イベントのある月(10 月・2 月)を除く	平日 196 休日 251	84 29	大規模イベントを除く試算(R4)
2	令和 9 年度の利用者数からの試算(ケース 1) ※大規模イベントのある月(10 月・2 月)を除く	平日 242 休日 298	38 -18	大規模イベントを除く試算(R9)
3	令和 9 年度の利用者数からの試算(ケース 2) ※大規模イベントのある月(10 月・2 月)を除く	平日 278 休日 336	2 -56	
4	大規模イベントのある 10 月(令和 4 年)で試算	平日 982 休日 1,195	-702 -915	てだこまつり(R4)
5	大規模イベントのある 2 月(令和 4 年)で試算	平日 482 休日 578	-202 -296	ヤクルトキャンプ(R4)
6	大規模イベントのある 10 月、2 月とイベントがない月の中でも最も多い 11 月(令和 4 年)で試算	平日 292 休日 266	48 10	大規模イベントを除く最大月(R4)
7	平成 29 年利用者数からの試算(最大: 9 月) ※大規模イベントのある月(10 月・2 月)を除く	平日 464 休日 561	-184 -281	コロナ禍前で利用者が最も多かった年(H29)
8	平成 29 年利用者数からの試算(最小: 1 月) ※大規模イベントのある月(10 月・2 月)を除く	平日 250 休日 310	30 -30	
9	平成 29 年利用者数からの試算(平均) ※大規模イベントのある月(10 月・2 月)を除く	平日 393 休日 487	-113 -207	
10	ハンドボールイベント時の利用者数からの試算(平成 27 年～令和 4 年の観客数から)	最大 708 最小 140 平均 372	-426 140 -92	ハンドボールイベント時(R4)
11	新市民体育館(※3,000 人規模)試算 浦添市ハンドボール王国まつり実績値(H27～R3)	参考 1,054	-774	新市民体育館供用後試算(R9)

参考:「浦添市運動公園再整備基本構想・基本計画」より

(2) 整備目標台数の設定方針

本整備目標台数の設定方針は以下の通りとする。

■整備目標台数の試算の基準にする時期(年度)について

年月別利用者数の推移(下表 5-2)より、浦添運動公園の施設全体の利用者は、令和 3 年度までコロナ禍の影響により 32 万人まで減少し、令和 4 年度にはヤクルトキャンプの開催により 67 万人まで増加した。

令和 5 年度以降は新市民体育館の整備工事より施設利用に制限がかかることから利用者数の減少が想定され、令和 8 年度に新市民体育館供用開始してから令和 9 年度には約 79～88 万人まで回復する予測(令和年度の利用実績から)がなされている。

ただし、令和 9 年度の利用者予測数は需要回復の途中段階での数字であり、その数字を普遍的な常設駐車場の整備目標台数に設定すると、令和 9 年度以降の需要回復状況によっては駐車スペースの不足が生じる可能性がある。

平成 27 年から令和 4 年のコロナ禍前の大きな変動がない安定した期間においては、平成 29 年度の利用者数が最も多く、上記令和 9 年度の利用者予測数より多いことが確認できる。

従って、平成 29 年度の利用者数より算出される台数を整備目標台数に設定することで、元来必要だった駐車台数を確保すると同時に令和 9 年度の利用者数も満足することができる。

以上より、本整備目標台数は平成 29 年度の利用者数をもとに算出するものとする。

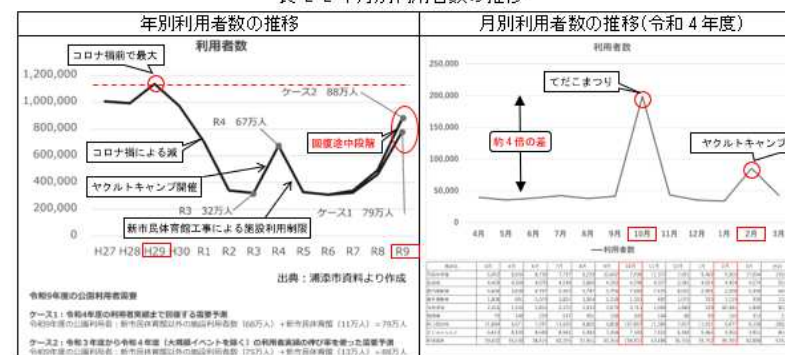
■大規模イベント月の取扱いについて

月別利用者数の推移から分かるように、10 月(てだこまつり)・2 月(ヤクルトキャンプ)の大規模イベントがある月の利用者数はその他の月に比べて最大 4 倍以上になる。

そのため、普遍的な常設駐車場の整備目標台数を大規模イベント時の利用者数をもって設定すると、特定の期間以外では駐車スペースが過大になることは明らかである。

従って、本整備目標台数は大型イベントを除く月による試算結果から設定するものとする。ただし、大型イベント時の駐車スペース不足には留意する(※別途対策の検討が必要:臨時駐車場や公共の交通機関への誘導等)。

表 2-2 年月別利用者数の推移



参考:「浦添市運動公園再整備基本構想・基本計画」より

1-2. 概略検討（概略検討図）【再掲】



(3) 整備目標台数の設定

(2)より当該運動公園の整備目標台数は、「平成29年度」の「大型イベント月を除く月」にて試算した台数を設定するものとする。

従って、上記条件のもと平均月(休日)の試算結果※(※表)(下図 5-4 参照)から、

浦添運動公園の整備目標台数は 200 台程度と設定する。

(解説)

上記条件のもと駐車スペースの需要及び必要台数について試算している結果がまとめられた資料を浦添市文化スポーツ振興課より提供を受けた。

本業務では、それが適切な駐車場目標台数の設定条件だと判断し、それを設定した。

- ・ コロナ禍前で年間利用者数が最大の平成29年利用者数をもとに、公共交通等の利用促進と駐車スペースの確保を想定した場合の駐車スペースの過不足について試算する。

コロナ禍前の平成29年利用者数から平日、休日の駐車スペース規模

項目	最大(9月)		最小(1月)		平均		備考
	平日	休日	平日	休日	平日	休日	
同時最大利用 者数の算定	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	回転率:1日のうちで、最も利用者数の多い時刻の 利用者数に対する割合。運動公園の平均滞在時間を 約2時間と想定すると、回転率は1/2.4となる(自然 公園等施設技術指針)。
自動車台数の分母率	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	令和3年度都市公園利用実態調査「都市公園利用ア ンケート調査」より
駐車場規模の 算定	1台あたり同乗者数 (人/台)	1.48	1.79	1.48	1.79	1.48	1.79
運動公園立休駐車台数 (約280台)での過不足	464	561	250	310	393	487	平成27年度全国道路・街路交通情勢調査(通行目的 別平均乗車人数:私事、乗用車、平日、休日)
	-184	-281	30	-30	-113	-207	

公共交通等の利用促進を踏まえた平日、休日の駐車スペース規模

- ・ 徒歩の利用率を現状の26.9%から28.9%に増加、自転車の利用率を現状の5.7%から7.7%に増加、公共交通等の利用率を現状の1.1%から5.0%に増加し、自転車の利用率を55%に低減
- ・ 駐車スペースについて、200台分のスペースの確保を想定

項目	最大(9月)		最小(1月)		平均		備考
	平日	休日	平日	休日	平日	休日	
同時最大利用 者数の算定	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	回転率:1日のうちで、最も利用者数の多い時刻の 利用者数に対する割合。運動公園の平均滞在時間を 約2時間と想定すると、回転率は1/2.4となる(自然 公園等施設技術指針)。
自動車台数の分母率	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	徒歩、自転車、公共交通等の利用促進を踏まえた自 動車の分母率
駐車場規模の 算定	1台あたり同乗者数 (人/台)	1.48	1.79	1.48	1.79	1.48	1.79
運動公園立休駐車台数 (約280台)での過不足	406	490	219	271	343	426	平成27年度全国道路・街路交通情勢調査(通行目的 別平均乗車人数:私事、乗用車、平日、休日)
	-126	-210	61	9	-63	-146	
約200台分の駐車スペースを 確保した場合の過不足	74	-10	261	209	137	54	

利用者が最大の9月の休日では約10台の不足がみられるが、隣接するカルチャーパーク内駐車場と連携した利用で補う

図 2-1 交通需要試算(案)

(4) 別途計画における駐車台数の考慮

本業務における「第4回業務打合せ」にて文化スポーツ振興課より以下の報告を受けた。

(内容)

陸上競技場再整備計画(R5年度業務)における陸上競技場の再整備に伴い、新規駐車場スペース「約20台」の確保を別途検討しており、当該駐車台数も整備目標台数に加味・考慮しても良い。

以上より、本駐車場基本計画における駐車場の整備目標台数は、上記試算結果の「約200台」から文化スポーツ振興課による別途検討台数「20台」を差し引いた「約180台」とする。

2.2 概略検討

2.2.1 概略計画図(※案)

前項より定めた既設駐車場を改修し立体駐車場を配置した概略計画図は以下の通りとなる。

(a)~(d)案それぞれに対して比較検討を行う。

なお、前項より整備目標台数は「約180台」として検討を行うものとする。

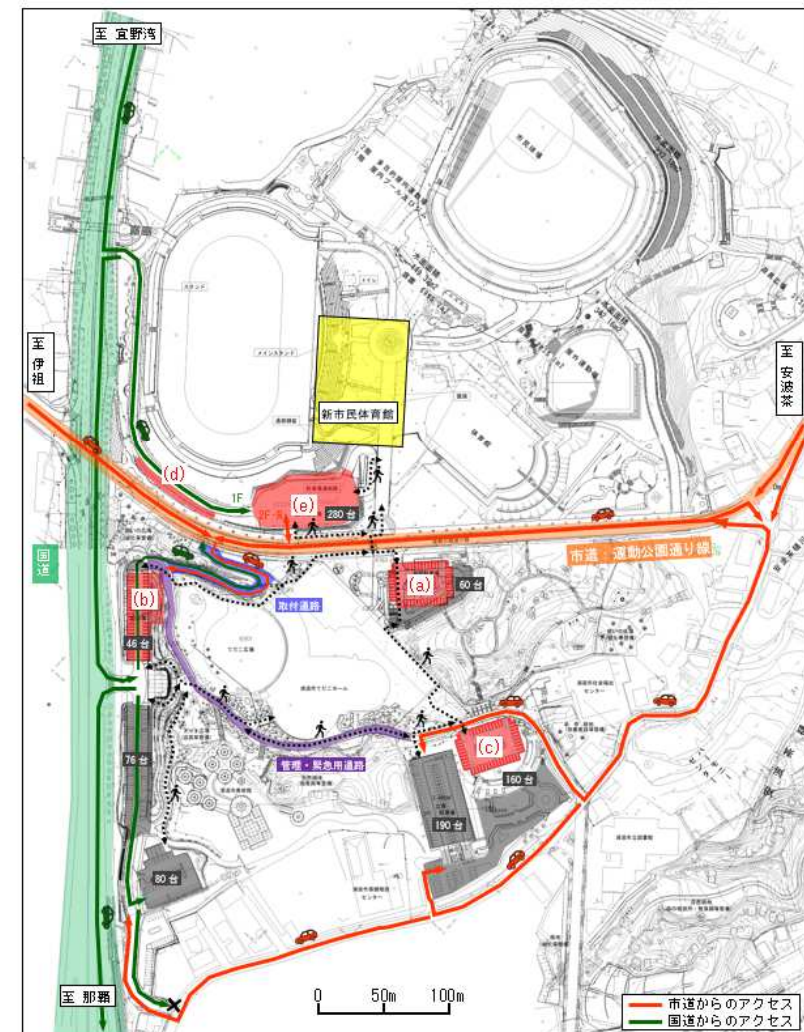


図 2-2 概略計画(案)全体位置図

1-2. 概略検討（概略検討図）【再掲】



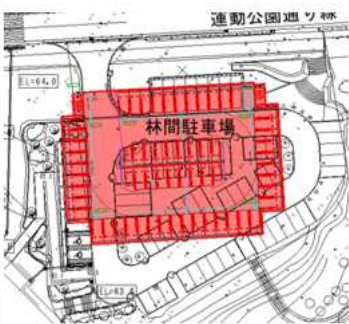
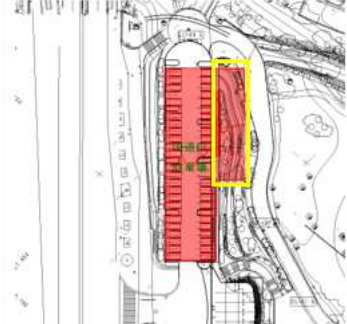
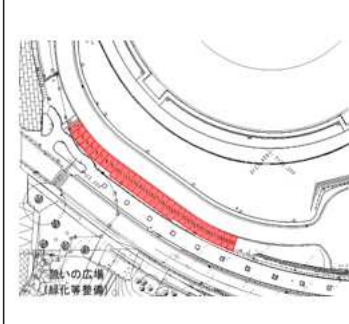
本立体駐車場の配置計画における比較検討表を作成した。

本立体駐車場の検討は初期費用、工期、維持管理性に優れる「認定駐車場」を想定。（一般建築と比べて、建築確認申請の所要時間が短縮でき、耐火被覆、防火区画、消防設備を簡素化できる）

また、当該検討地域は「第一種中高層住宅地域」に該当するため、本立体駐車場の検討は「床面積 3,000㎡以内、自動車庫部分を除いた建築物の延べ面積以内かつ 2階以下のもの※」に準拠して計画している。

※特例として、3層4段まで階層を増やした場合に確保できる駐車台数も示している。ただし、その場合は別途申請等が必要となることに留意するものとする。

表 2-3 駐車場比較検討表

案	(a)林間駐車場案	(b)国道口駐車場案	(c)中央口駐車場案	(d)園路沿い案※平面	(e)運動公園立体駐車場改修案																																																																																							
計画 (案)																																																																																												
概要	平面駐車場(62台) ↓ 立体駐車場(2層3段)3層4段※	平面駐車場(46台) ↓ 立体駐車場(2層3段)	平面駐車場(64台)※ ↓ 立体駐車場(2層3段)3層4段※	緑地空間(0台) ↓ 平面駐車場の新設(30台)	立体駐車場(2層3段:280台) ↓※既設取壊し 立体駐車場(3層4段)																																																																																							
駐車 台数	<table><tr><th>階層</th><th>駐車台数</th><th>既設との比較</th></tr><tr><td>1階</td><td>62</td><td>±0</td></tr><tr><td>2階</td><td>(62)+65</td><td>+65</td></tr><tr><td>R階</td><td>(62+65)+64</td><td>+129</td></tr><tr><td>R階※</td><td>(62+65+64)+64</td><td>+193※</td></tr><tr><td>合計</td><td>191(255※)台</td><td>+129(193※)台</td></tr></table>	階層	駐車台数	既設との比較	1階	62	±0	2階	(62)+65	+65	R階	(62+65)+64	+129	R階※	(62+65+64)+64	+193※	合計	191(255※)台	+129(193※)台	<table><tr><th>階層</th><th>駐車台数</th><th>既設との比較</th></tr><tr><td>1階</td><td>48</td><td>+2</td></tr><tr><td>2階</td><td>(48)+46</td><td>+48</td></tr><tr><td>R階</td><td>(48+46)+48</td><td>+96</td></tr><tr><td>合計</td><td>142台</td><td>+96台</td></tr></table>	階層	駐車台数	既設との比較	1階	48	+2	2階	(48)+46	+48	R階	(48+46)+48	+96	合計	142台	+96台	<table><tr><th>階層</th><th>駐車台数</th><th>既設との比較</th></tr><tr><td>1階</td><td>62</td><td>-2</td></tr><tr><td>2階</td><td>(62)+65</td><td>+63</td></tr><tr><td>R階</td><td>(62+65)+64</td><td>+127</td></tr><tr><td>R階※</td><td>(62+65+64)+64</td><td>+191※</td></tr><tr><td>合計</td><td>191(255※)台</td><td>+127(191※)台</td></tr></table>	階層	駐車台数	既設との比較	1階	62	-2	2階	(62)+65	+63	R階	(62+65)+64	+127	R階※	(62+65+64)+64	+191※	合計	191(255※)台	+127(191※)台	<table><tr><th>階層</th><th>駐車台数</th><th>既設との比較</th></tr><tr><td>1階</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>2階</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>3階</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>R階</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>合計</td><td>30台</td><td>+30台</td></tr></table>	階層	駐車台数	既設との比較	1階	-	-	2階	-	-	3階	-	-	R階	-	-	合計	30台	+30台	<table><tr><th>階層</th><th>駐車台数</th><th>既設との比較</th></tr><tr><td>1階※既設</td><td>98</td><td>±0</td></tr><tr><td>2階※既設</td><td>(98)+81</td><td>±0</td></tr><tr><td>3階※既設</td><td>(98+81)+103</td><td>±0</td></tr><tr><td>R階</td><td>(93+81+103)+90</td><td>+90</td></tr><tr><td>合計</td><td>191台</td><td>+90台</td></tr></table>	階層	駐車台数	既設との比較	1階※既設	98	±0	2階※既設	(98)+81	±0	3階※既設	(98+81)+103	±0	R階	(93+81+103)+90	+90	合計	191台	+90台
階層	駐車台数	既設との比較																																																																																										
1階	62	±0																																																																																										
2階	(62)+65	+65																																																																																										
R階	(62+65)+64	+129																																																																																										
R階※	(62+65+64)+64	+193※																																																																																										
合計	191(255※)台	+129(193※)台																																																																																										
階層	駐車台数	既設との比較																																																																																										
1階	48	+2																																																																																										
2階	(48)+46	+48																																																																																										
R階	(48+46)+48	+96																																																																																										
合計	142台	+96台																																																																																										
階層	駐車台数	既設との比較																																																																																										
1階	62	-2																																																																																										
2階	(62)+65	+63																																																																																										
R階	(62+65)+64	+127																																																																																										
R階※	(62+65+64)+64	+191※																																																																																										
合計	191(255※)台	+127(191※)台																																																																																										
階層	駐車台数	既設との比較																																																																																										
1階	-	-																																																																																										
2階	-	-																																																																																										
3階	-	-																																																																																										
R階	-	-																																																																																										
合計	30台	+30台																																																																																										
階層	駐車台数	既設との比較																																																																																										
1階※既設	98	±0																																																																																										
2階※既設	(98)+81	±0																																																																																										
3階※既設	(98+81)+103	±0																																																																																										
R階	(93+81+103)+90	+90																																																																																										
合計	191台	+90台																																																																																										
利点	- 運動公園利用者に対して利便性に優れる - 確保できる駐車台数が最も多い - 緑地空間への影響なし 3層4段※特例で(193台>180台)の確保可	- 不法駐車が多い箇所に駐車台数を確保可 - 国道からの出入り可能 - 不法駐車が多い箇所に駐車台数確保可	- 不法駐車が多い箇所に駐車台数確保可 - 確保できる駐車台数が最も多い - 緑地空間への影響なし 3層4段※特例で(193台>180台)の確保可	- 運動公園利用者に対して利便性に優れる - 国道からの出入り可能	- 運動公園利用者に対して利便性に最も優れる - 国道からの出入り可能 - 緑地空間への影響なし																																																																																							
留意点	- 国道からの出入り不可 - イベント時は市道の渋滞が予想される [※特例として] 3層4段の場合は建築確認申請とは別に建築許可申請等が必要となる	- 運動公園利用者に対する利便性に劣る - 自走式のスロープ面積を確保するために自然法面の改修が必要(緑地空間の減)	- 運動公園利用者に対する利便性に劣る - 国道からの出入り不可 ※当該箇所は現在「つどいの広場」として位置付けられており、本来の利用目的が駐車場ではないため関係機関と調整が必要 [※特例として] 3層4段の場合は建築確認申請とは別に建築許可申請等が必要となる	- 駐車場設置による緑地空間の減少 - 確保できる駐車台数が最も少ない - 駐車場の有料化に伴う料金パーの配置計画等との調整が必要	- 新設駐車場の規模が最も大きい - 景観性・費用の面で他案に劣る - 確保できる駐車台数が2番目に少ない 3層4段にするために建築関連の申請等の法申請が必要となる [既設駐車場の取壊しがあることで] - 費用が最も大きい - 取壊し及び建替え期間は運動公園利用者が公園内の駐車場を利用できない - 工期が最も長い																																																																																							
推奨	◎※特例の3層4段(+193台)		○※特例の3層4段(+191台)																																																																																									

1-3. 立体駐車場の配置及び外構施設の検討【再掲】

2. 駐車場基本検討

2.1 立体駐車場の配置及び外構施設の検討

2.1.1 外構施設の検討

(1) 検討の概略

「5.4 概略検討」より、本計画立体駐車場は運動公園前の林間駐車場に配置するものである。

当該立体駐車場を林間駐車場に配置するに伴い、既設の駐車スペース（外構施設）は改良を行い立体駐車場及び周辺環境と調和するよう検討を行う必要がある。

従って、本項は立体駐車場の「具体的な配置」及び「外構施設」の検討を行うものである。



航空写真



(2) 検討の留意事項

立体駐車場の具体的な配置及び外構施設の検討は、以下の事に留意して検討を行うものとする。

立体駐車場の配置と外構施設の検討における留意事項

■車いす利用者等専用駐車場

現在車いす専用駐車場は、既設収容台数 69 台(51~100 台)に対して 2 台整備されている。ガイドラインより、当該計画駐車場の整備目標台数が 180 台(151~200 台)であることから、合計 4 台以上を確保すること。

■後背緑地・緩衝空間

「5.3.2 設計条件の整理」の基本構想・計画の環境・景観に関する整備方針から、既設の緑地・緩衝空間は可能な限り保全すること。

■出入口の整備された景観スペース

出入口の景観スペースは「石造の名壁」、「看板」、「おもろの碑」、花や樹木等が現在も綺麗に整備されており、カルチャーパークの顔にもなっていることから、可能な限り保全すること。

■既設擁壁・階段

既設擁壁・階段は、改修にかかる費用増加や工期の長期化、設計・工事等の煩雑化を考慮し、可能な限り影響が出ないよう検討案を作成すること。

■車両動線及び車両幅員

駐車場へ進入した車両が旋回して市道へ出られるよう、十分なスペースを確保すること。「駐車場設計・施工指針」より検討車両は緊急車両等も考慮して「普通自動車」で検討する



1-3. 立体駐車場の配置及び外構施設の検討【再掲】



(3)配置計画及び外構施設の比較検討

本項は、立体駐車場の具体的な配置計画及び外構施設の比較検討を行うものである。

なお、周囲環境の状況と前項の留意事項に考慮し、立体駐車場の配置比較検討は、

「市道に平行に配置する案」と「背面の緑地空間に対して平行に配置する案」で行い、それぞれに対して詳細な比較検討を行う。

また、全ての検討案の共通条件として以下の条件に従うものとする。

【共通条件】

- ・「基本構想・計画」より、緑地空間の保全を優先事項とし当該空間に影響のないよう配置する
- ・「駐車場設計・施工指針」より、車両幅員は5.5m以上を確保するものとする
- ・「マ指針」より、車両は「普通乗用車(L=5.6m、W=2.0m)」を想定して軌跡検討するものとする
- ・「ガイドライン」より、車いす専用駐車スペースは4つ以上設置するものとする

【市道平行配置案】・・・市道(運動公園通り線)に対して平行に立体駐車場を配置する案

駐車場規格	標準(最大収容)	短辺部を削減	長辺部を削減
平面図			
収容台数	約205台(2層3段)	約183台(2層3段)	約167台(2層3段)
メリット	・収容台数が最大 ・駐車場で車両旋回可能 ・既設樹木が一部流用可能	・駐車場で車両旋回可能 ・既設樹木が一部流用可能	・既設擁壁の改修が不要 ・景観スペースの改修が不要 ・駐車場で車両旋回可能 ・既設樹木が一部流用可能
デメリット	・既設擁壁の改修が必要 ・景観スペースの改修が必要	・収容台数の減 (1階層当たり約10台減) ・既設擁壁の改修が必要 ・景観スペースの改修が必要	・収容台数の減 (1階層当たり約15台減)

【背面緑地平行配置案】・・・背面の緑地空間に対して平行に立体駐車場を配置する案

駐車場規格	標準(最大収容)	短辺部を削減	長辺部を削減
平面図			
収容台数	約200台(2層3段)	約170台(2層3段)	約155台(2層3段)
メリット	・収容台数が最大 ・既設擁壁の改修が不要 ・景観スペースの改修が不要	・既設擁壁の改修が不要 ・景観スペースの改修が不要 ・駐車場で車両旋回可能	・既設擁壁の改修が不要 ・景観スペースの改修が不要
デメリット	・進入車両の旋回が不可 ・既設樹木の流用不可(撤去)	・収容台数の減 (1階層当たり約10台減) ・進入車両の旋回が不可 ・既設樹木の流用不可(撤去)	・収容台数の減 (1階層当たり約15台減) ・進入車両の旋回が不可 ・既設樹木の流用不可(撤去)

【比較結果】・・・「市道平行配置案」は進入車両の旋回が可能であり、収容台数にも優れる。

2.2 構造及び配置場所の確認

「予備検討」より当該立体駐車場の設置場所の用途地域は「第一種中高層住居専用地域」に該当することから、立体駐車場の規模は建築基準法より2層3段が基準値の最大の階高となる。

また、3層4段の立体駐車場を建設する場合は別途申請が必要となる。



ここで、「予備検討」より本駐車場基本計画の整備目標台数は180台であることから、当該台数を確保するために3層4段の立体駐車場設置についても検討するものとした。

検討の結果、2層3段と3層4段の立体駐車場それぞれの収容台数及び特徴を以下に整理した。

階高	収容台数(台)	費用(千)	メリット	デメリット
2層3段	約140台	¥510,000	・別途申請が不要 ・費用が安い	・整備目標台数(180台)を満足しない
3層4段	約185台	¥650,000	・整備目標台数(180台)を満足する	・別途申請が必要 ・費用が高い ・景観性の確認が必要

※1. 構造物建設費の概算(杭別注)

以上より、本駐車場基本計画では整備目標台数を満足する3層4段での立体駐車場設置を検討するものとした。

(※)また、2層3段から3層4段にすることによる景観性への影響が懸念されるため、当該立体駐車場の周辺からの見え方を比較検討出来るパース図を作成し、本業務の「関係機関協議」にて検討委員と景観性の確認を行うものとする。



「関係機関協議」にて確認したパース図は次頁より掲載する。

1-4. 構造及び配置場所の確認【再掲】

■駐車場基本計画イメージ図(平面・鳥観図)

【平面】



【鳥瞰図】



■駐車場基本計画イメージ図(運動公園から見た立体駐車場)

【現況】



【立体駐車場(2層3段)】



【立体駐車場(3層4段)】



1-4. 構造及び配置場所の確認【再掲】

■駐車場基本計画イメージ図(市道から見た立体駐車場)県道向け

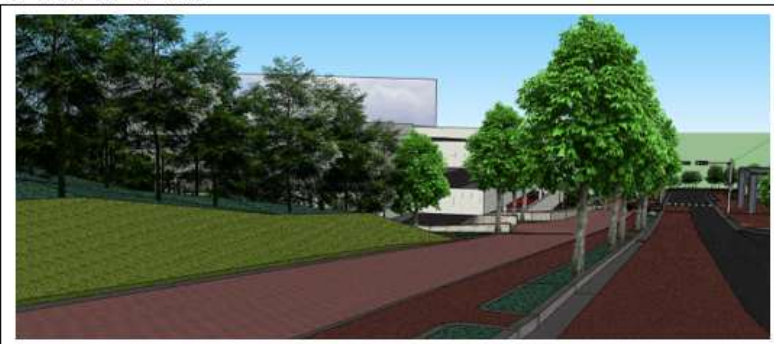
【現況】



【立体駐車場(2層3段)】



【立体駐車場(3層4段)】



■駐車場基本計画イメージ図(市道から見た立体駐車場)安波茶向け

【現況】



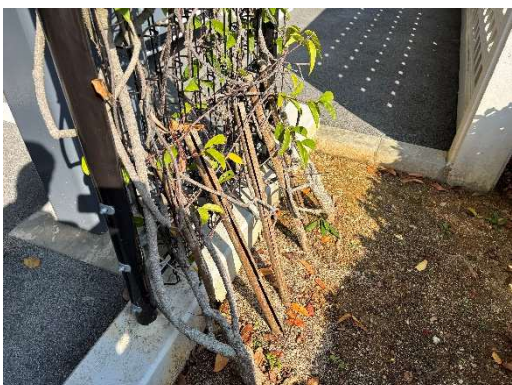
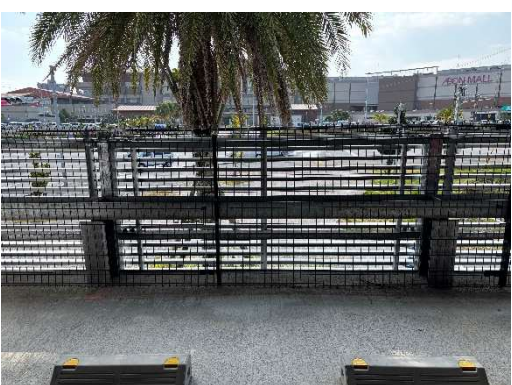
【立体駐車場(2層3段)】



【立体駐車場(3層4段)】



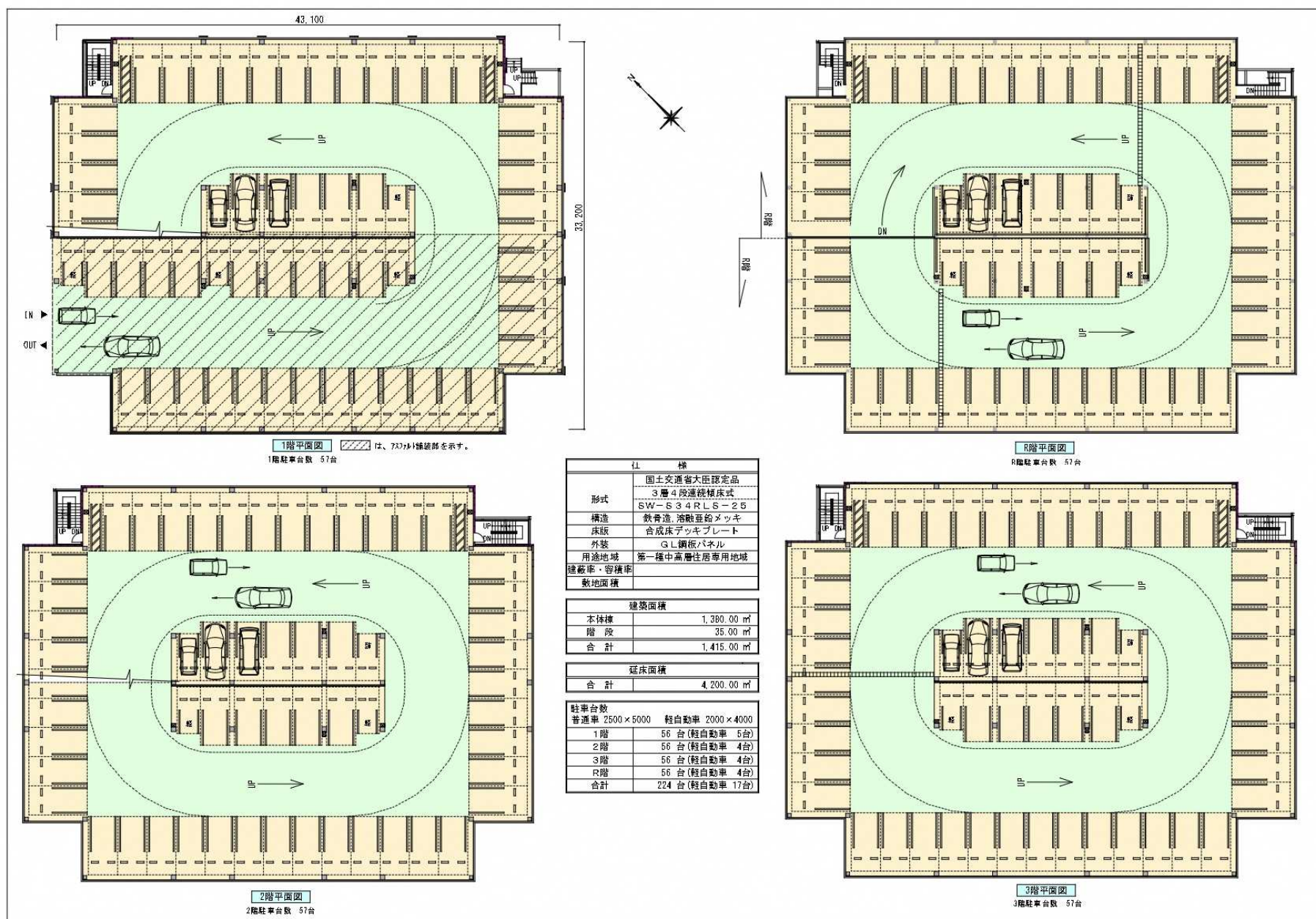
2. 実施設計図とイメージCG（事例写真）

那覇市立病院			
てだこ浦西駅パーク アンドライド駐車場			
中部徳洲会病院			

浦添市



2. 実施設計図とイメージCG（各階平面図）



2. 実施設計図とイメージCG（立面図）



浦添市



2. 実施設計図とイメージCG（イメージCG：近景）



2. 実施設計図とイメージCG（イメージCG：遠景）



2. 実施設計図とイメージCG（イメージCG：市道から見上げ）



2. 実施設計図とイメージCG（イメージCG：市道から見下げ）



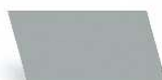
2. 実施設計図とイメージCG（参考カタログ）

カラーバリエーション／近似マンセル値・日射反射率

ニスクカラー Proには、建築物に応じた2つの塗装タイプが用意されています。プレミアム感が高く美観保持にも優れるGHシリーズ、様々な用途に応える豊富なカラーと高い基本性能を備えたGCシリーズ。全34色の多彩なカラーラインナップから、屋根・外壁をはじめ、多様な建築物にご使用いただけます。

ニスクカラー Pro. GH

つや消し

 GHN23 S コグチャ JIS 5 類 マンセル値：6.7YR 2.7/0.6 日射反射率：42%	 GHG04 S モスグリーン JIS 5 類 マンセル値：2.4G 2.9/1.1 日射反射率：43%	 GHR25 S レッドブラウン JIS 5 類 マンセル値：9.5R 3.0/4.0 日射反射率：45%	 GHR38 S ブリックレッド JIS 5 類 マンセル値：9.2R 3.3/5.0 日射反射率：46%
 GHY35 S オレンジ JIS 5 類 マンセル値：6.0YR 5.0/6.8 日射反射率：49%	 GHN22 S ブラウン JIS 5 類 マンセル値：7.2YR 2.8/0.9 日射反射率：42%	 GHK01 S ブラック JIS 5 類 マンセル値：5.0PB 2.3/0.4 日射反射率：41%	 GHK02 S ブラックパール JIS 5 類 マンセル値：5.3YR 2.9/0.2 日射反射率：43%
 GHB10 S ダークブルー JIS 5 類 マンセル値：10.0B 2.4/2.1 日射反射率：46%	 GHA40 S ストーングレー マンセル値：5.4Y 6.9/0.1 日射反射率：61%		

ニスクカラー Pro. GC

つや消し

 GCM37 C マットシルバー マンセル値：0.1B 6.1/0.4 日射反射率：56%	 GCM16 S いぶし銀 JIS 5 類 マンセル値：3.9Y 3.1/0.4 日射反射率：41%	 GCM36 C パールゴールド マンセル値：1.4Y 5.7/1.0 日射反射率：52%	 GCA51 S マットグレー マンセル値：2.3BG 5.3/0.4 日射反射率：53%
 GCB53 S ディープブルー JIS 5 類 マンセル値：6.2B 2.9/4.2 日射反射率：47%	 GCG55 S ロクショウ マンセル値：2.0BG 5.5/3.7 日射反射率：56%	 GCK50 S ファインブラック JIS 5 類 マンセル値：4.8PB 2.1/0.5 日射反射率：43%	

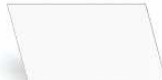
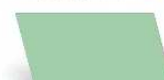
ニスクカラー Pro.

外壁の基調色

外壁の補助色

ニスクカラー Pro. GC

つやあり

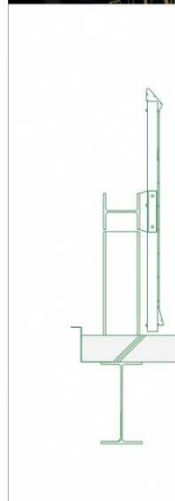
 GCW07 C ホワイト JIS 5 類 マンセル値：8.3Y 8.9/0.3 日射反射率：64%	 GCM17 SC シルバー マンセル値：3.3BG 6.4/0.1 日射反射率：60%	 GCM21 S メタリックブラウン JIS 5 類 マンセル値：7.3YR 2.5/0.9 日射反射率：42%	 GCW12 C ウォールホワイト JIS 5 類 マンセル値：3.8Y 8.7/0.6 日射反射率：65%
 GCG15 C ミントグリーン マンセル値：2.9BG 6.0/1.7 日射反射率：59%	 GCA20 SC フリントグレー マンセル値：8.1YR 6.8/0.2 日射反射率：61%	 GCM26 C シルバーブラウン マンセル値：0.7Y 4.4/1.0 日射反射率：50%	 GCV11 C アイボリー JIS 5 類 マンセル値：2.4Y 8.3/1.6 日射反射率：67%
 GCV14 C アイボリーホワイト JIS 5 類 マンセル値：7.8Y 8.2/1.1 日射反射率：59%	 GCV13 C クリームベージュ JIS 5 類 マンセル値：0.4Y 7.5/1.1 日射反射率：52%	 GCM27 SC ゴールド マンセル値：0.5Y 4.4/1.9 日射反射率：50%	 GCW08 C サンドホワイト JIS 5 類 マンセル値：2.6GY 7.7/0.7 日射反射率：62%
 GCR24 S レッド JIS 5 類 マンセル値：0.7YR 2.7/8.5 日射反射率：48%	 GCB09 S ブルー JIS 5 類 マンセル値：4.9B 2.9/5.7 日射反射率：43%	 GCA19 S グレー マンセル値：2.6BG 5.7/0.5 日射反射率：56%	 GCG06 S ウグイス JIS 5 類 マンセル値：2.6BG 6.6/2.2 日射反射率：60%
 GCG03 S グリーン JIS 5 類 マンセル値：5.5G 3.0/4.8 日射反射率：43%			

※遮熱塗装品は色名の前にSが付きます。
※耐汚染塗装品は色名の前にCが付きます。
※遮熱及び耐汚染の両方の機能を付与したものは、色名の前にSCが付きます。
※JIS G3322：2012が定めるS類相当品にはJIS 5 類マークが付いています。

2. 実施設計図とイメージCG（参考カタログ）

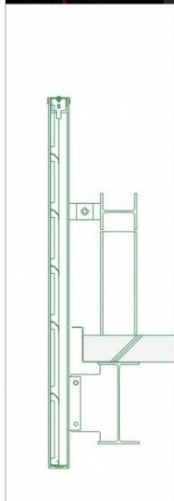
メッシュフェンス

最もコストパフォーマンスが高い。
転落防止柵より内側に設置。



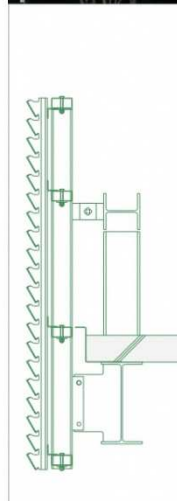
鋼板パネル

ガルバリウム鋼板のパネル。
内側から支柱間にパネルを
差込む施工方法で外部足場
を必要としないため、工期
短縮が可能。



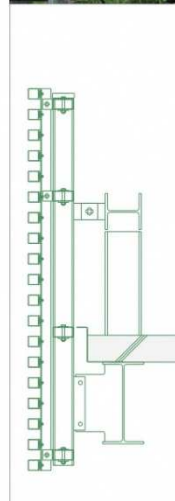
アルミルーバー A

ロールフォーミング加工の
ルーバー。
羽板の向きや形状、カラー
が選べる。



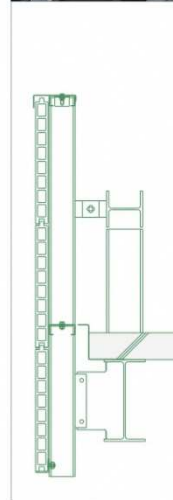
アルミルーバー B

押出型材のルーバー。
シャープでスタイリッシュ
な外観に。
アルマイトシルバー加工や
電解着色等に対応。



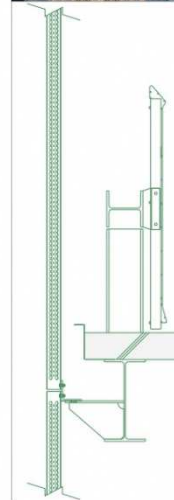
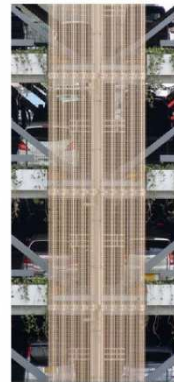
押出成形セメント板

平滑な仕上がりですっきり
とした印象に。塗装仕上げ。



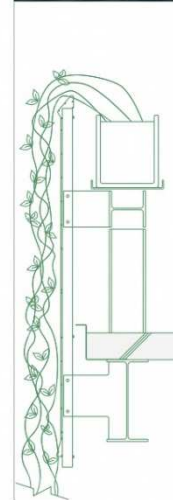
有孔折板

装飾性と開放性を兼ね備した
仕上げ材。アクセントとし
て部分的に使用するなど、
デザイン性の高い外観に。



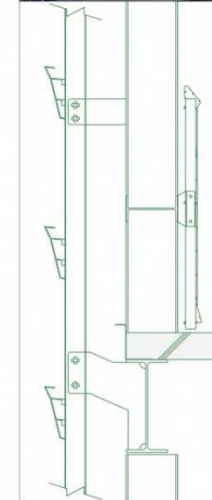
壁面緑化

転落防止柵に、軽量のEPS
プランターを設置し、ツタ類・
ツル性植物を外部フェンス
に這わせるタイプ。



デザイン提案

お客様のご希望イメージやご予算
に応じて、ファサードデザインを
ご提案します。

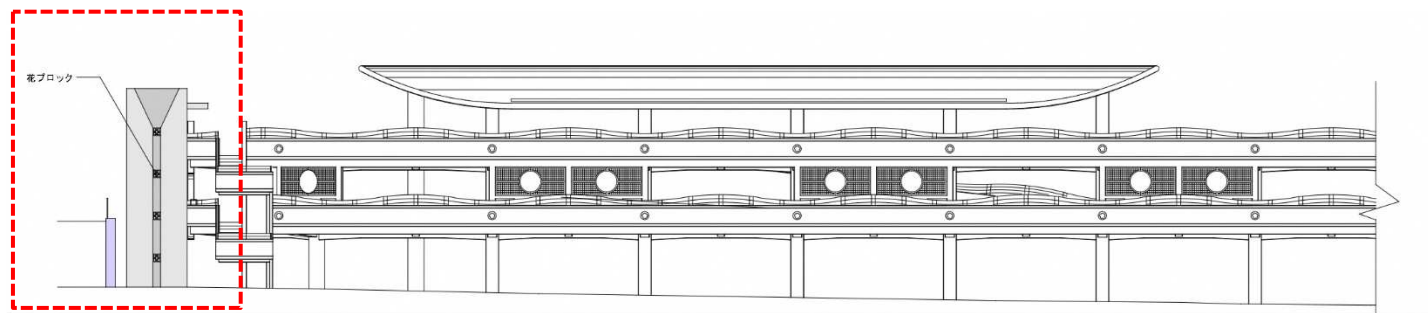


※ 上記以外も対応可能です

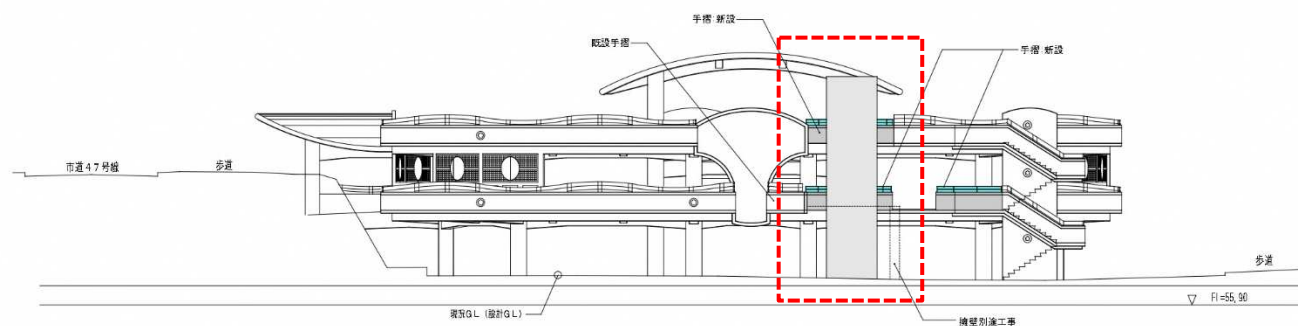
3-1. 既設立体駐車場昇降機棟増築（事例写真）

			
			
			
経塚駅	石嶺駅	儀保駅	市立病院前駅

3-1. 既設立体駐車場昇降機棟増築（立面図）



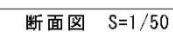
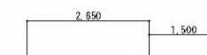
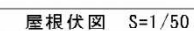
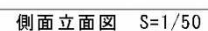
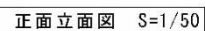
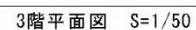
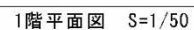
東側立面図 S=1/100



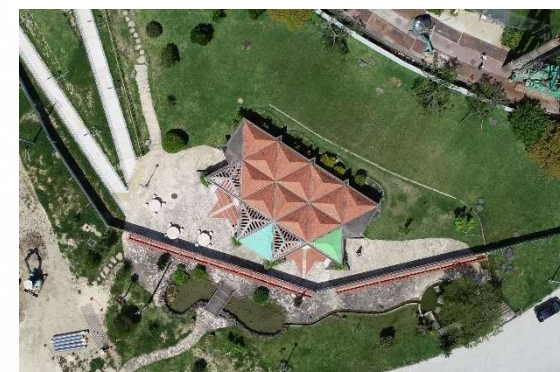
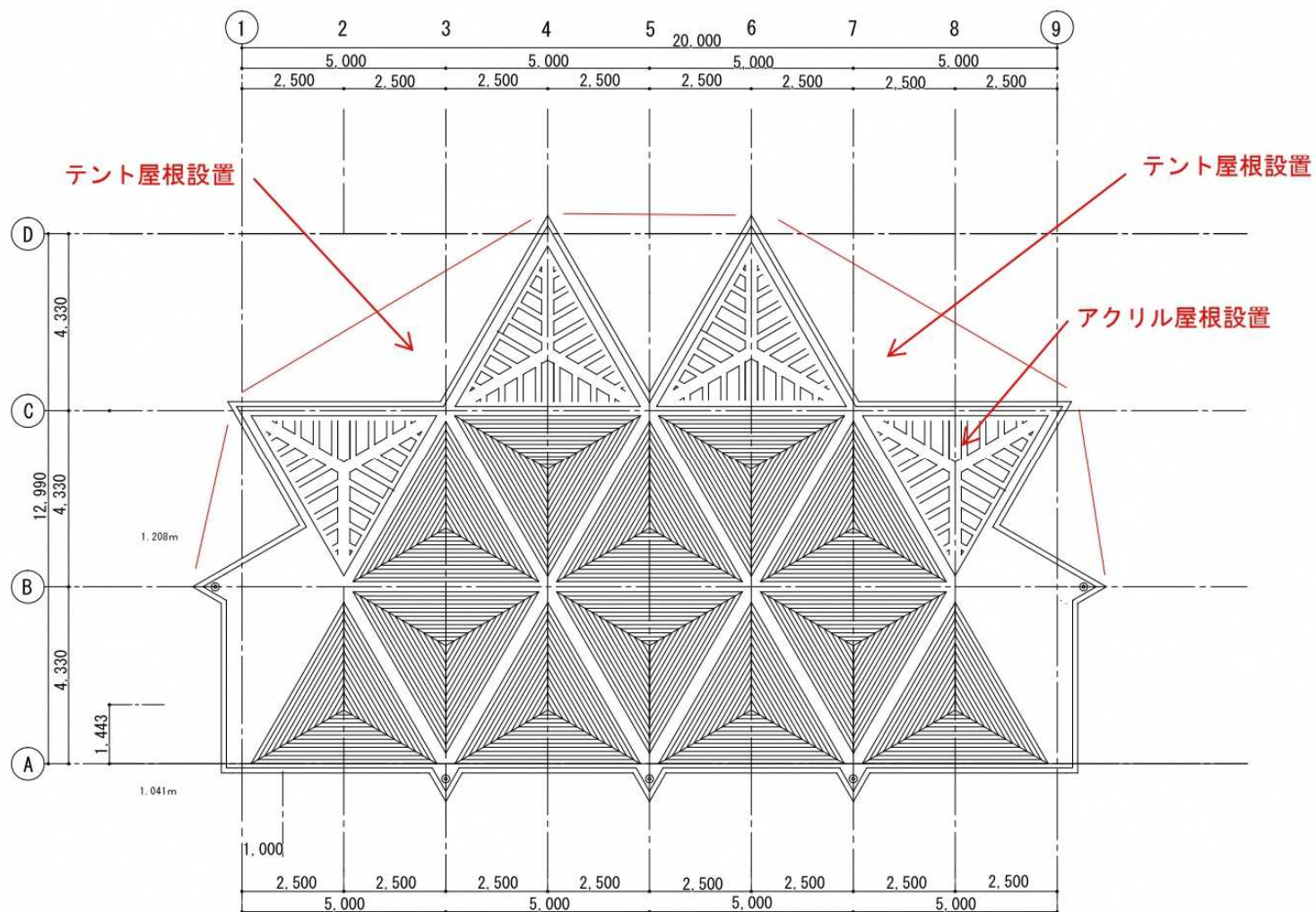
南側立面図 S=1/100



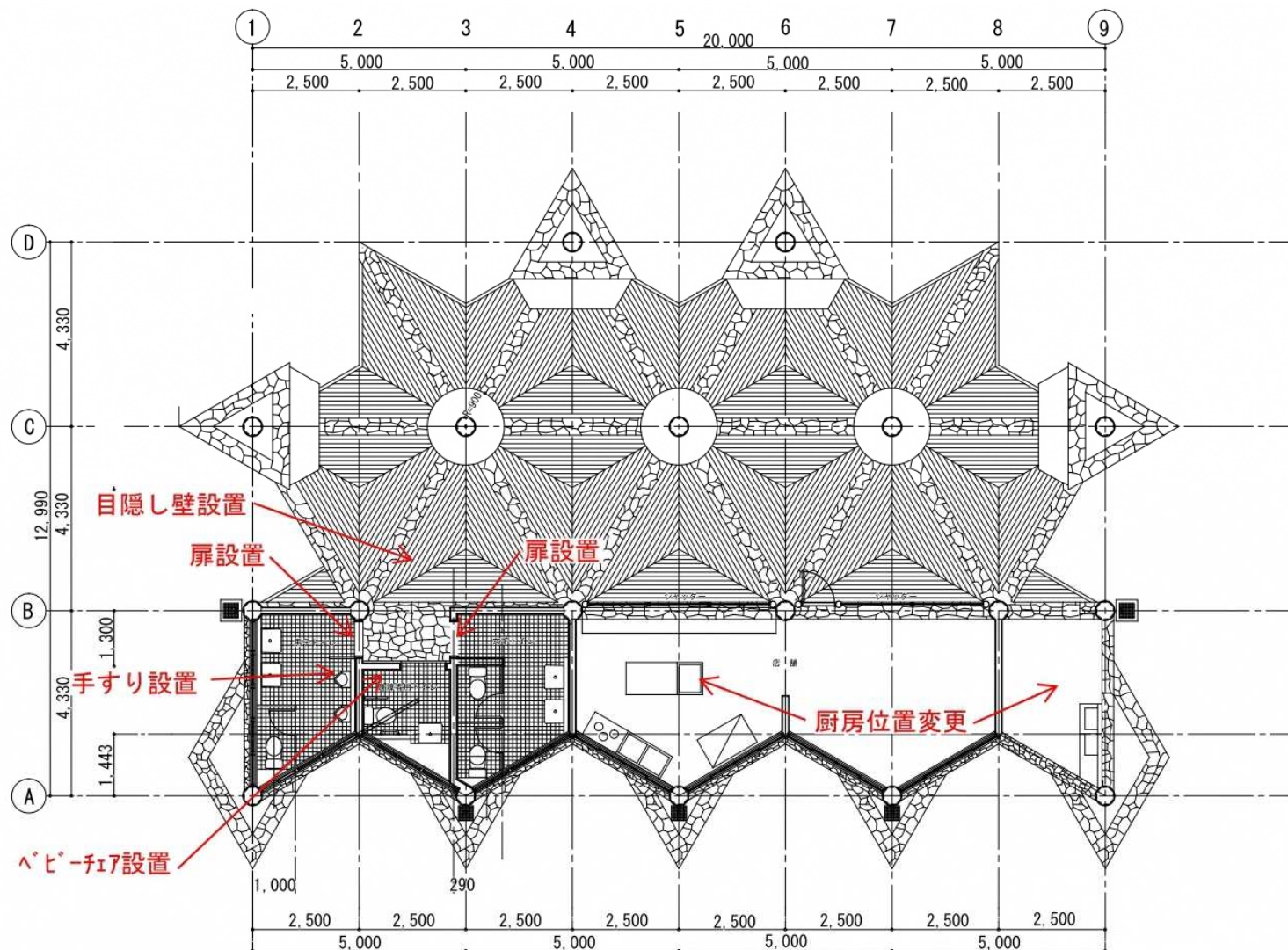
浦添市



3-2. 既設レストハウス改修（既設屋根伏せ図）



3-2. 既設レストハウス改修（既設平面図）



 浦添市

